

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		空き家跡地活用				所管	都市づくり部 建築課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	99	計画事業名	空き家の適正管理及び有効活用の推進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					[事業開始] 平成28年度			
		[小 柱] (3)住生活の安定の確保及び質の向上					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ②良質な住宅・良好な住環境の整備促進								
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区空き家跡地活用事業実施要綱、台東区空き家跡地活用事業補助金交付要綱、台東区跡地活用検討会設置要綱				
	事業対象	直接の対象 : 老朽空き家の所有者等 最終的な対象 : 地域住民								
	事業目的	老朽化の著しい空き家の除却を推進するとともに、除却後の跡地を区が活用することで、地域の安全・安心、居住環境の改善を図る。								
	事業内容 [29年度]	老朽空き家の所有者に対し、当該空き家除却後の跡地を区に5年間無償貸与することを条件に、除却工事費用の全額(限度額250万円)を補助する。 29年度は、空き家実態調査等によって把握した老朽空き家(老朽危険度C・Dランク)の所有者等に対し、事業周知を実施。								
委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	空き家跡地活用事業申請件数		件	1	—	0	0	1	0.0%
		成果指標								
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-	-	0	2,681	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-	-	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-	-	0	0	
		総経費				-	-	3,567	2,681	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-	-	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-	-	0	0	
一般財源(区負担額)				-	-	3,567	2,681			
前回評価から29年度に改善した事項	制度開始当初は、緊急度の高い空き家(老朽危険度Dランク)を対象に事業周知を行ったが、29年度は老朽危険度Cランクの空き家所有者にも事業周知を実施した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	民間活用が困難な敷地条件や所有者の経済的事情等により管理不全な状態で放置され、地域の居住環境等に悪影響を与えている老朽空き家に対し、所有者自らが改善する際の支援制度として必要である。							
	効率性	3	空家特措法に基づく措置に至る前に、所有者による早期改善を図ることができる。また、区の財政負担も国等の補助金を活用することで軽減される。							
	手段の適切性	3	空き家の適正管理は所有者の責務であるが、除却後の跡地を区が活用する等の一定の条件のもと所有者へ財政支援することで、老朽空き家の除却を促進し、地域の安全・安心、居住環境の向上が図られる。							
目的達成度	2	事業実績はないが、本事業の周知を図ることで、所有者による空き家対応の検討のきっかけとなり、結果的に老朽空き家(Dランク)の除却に至っている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
本事業がきっかけで老朽空き家の除却に至った事例はあるものの事業実績がないため、制度の一部見直し等の課題がある。老朽空き家の更なる解消に向けて、引き続き所有者への事業周知を積極的に行う。また、跡地活用について、区以外の事業主体による活用事例等を研究する。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		